リアカバー（CA1-RCVLRG-01）
デスクトップ型スタンド（CA1-STDLRG-01）
取扱説明書

このたびは、（株）デジタル製リアカバーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

リアカバーはPS-600Gシリーズ、PS-500Pシリーズ、GP-2500/2600シリーズ、GLC2600シリーズ、およびFP-2500/2600シリーズ、FP-3500T/3600T/3650Tシリーズ（これより本体と称します）に取り付けることができます。

リアカバーは別売のデスクトップ型スタンドや壁掛け用アダプタと組み合わせることで、本体を机上や壁に設置することができます。

下記のほか、本書に記載の商品名は各社の商標・登録商標です。
Pro-face®：（株）デジタル

お断り：本製品は、CEマーキングまたはUL/c-UL(CSA)規格対応品ではありません。本製品をCEマーキングまたはUL/c-UL(CSA)規格に対応している製品と組み合わせてご使用になると、CEマーキングまたはUL/c-UL(CSA)規格に適合しなくなりますのでご注意ください。

安全に関する使用上の注意

本書には、リアカバーと本体を正しくお使いいただくために安全表示が記述されています。本書ならびに関連マニュアルをよくお読みいただき、リアカバーと本体の正しい取り扱い方法と機能を十分にご理解いただきますようお願いします。

■絵表示について

本書では、リアカバーと本体を安全に使用していただくために、注意事項に次のような絵表示を使用しています。ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。必ず守ってください。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警 告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注 意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

⚠ 警告

- 本体への取り付け時は感電の恐れがありますので、本体に電源が供給されていないことを必ず確認して取り付けてください。
- リアカバーを取り付ける際には本書「3. 取り付け」をよく読んで、正しく取り付けてください。

■故障しないために

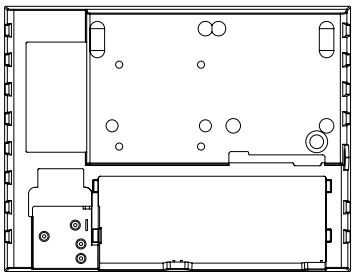
- 本体は精密機器ですので衝撃を与えないでください。
- 本体に水や液状のもの、金属が付着しないようにしてください。故障や感電の原因になります。
- 直射日光に当たる場所や高温の場所、ほこりの多い場所、振動の加わる場所での保管および使用は避けてください。
- 薬品が気化し発散している空気や、薬品が付着する場所での保管および使用は避けてください。
- 修理や改造を行わないでください。
- 腐食性ガスの発生する環境では使用しないでください。

梱包内容

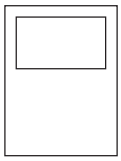
梱包箱には以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

■リアカバー（CA1-RCVLRG-01）

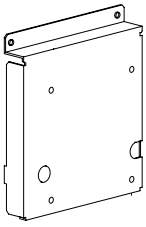
リアカバー　1個



取扱説明書（本書）　1枚

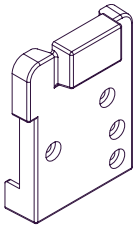


ブラケット　1個



ブラケット取り付けネジ　4個

電源カバー　1個



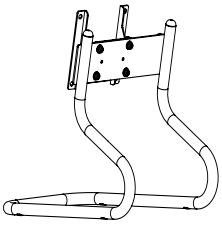
電源カバー取り付けネジ（黒色）
4個

品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

別売品

■デスクトップ型スタンド（CA1-STDLRG-01）

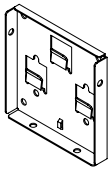
スタンド　1個



ディスプレイ取り付けネジ　4個

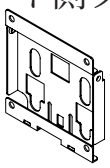
■壁掛け用アダプタ（CA1-WMALRG-01）

壁側プレート　1枚



プレート固定ネジ　2個
取扱説明書　1枚

ディスプレイ側プレート　1枚



ディスプレイ側プレート
取り付けネジ　4個

リアカバーについて

リアカバーは別売のデスクトップ型スタンドや壁掛け用アダプタ、市販アームと組み合わせて使用します。組み合わせは次のとおりです。

・机上で使用する場合

リアカバー（CA1-RCVLRG-01）＋デスクトップ型スタンド（CA1-STDLRG-01）

・壁に直接取り付けて使用する場合

リアカバー（CA1-RCVLRG-01）＋壁掛け用アダプタ（CA1-WMALRG-01）

・アームなどに取り付けて使用する場合

リアカバー（CA1-RCVLRG-01）＋市販のVESA準拠アームなど

市販のVESA FPMPMI規格対応（75mm）のアーム型固定器具や壁掛け用固定器具と接続することができます。

MEMO

VESA：Video Electoronics Standard Association

FPMPMI：Flat Panel Monitor Physical Mounting Interface

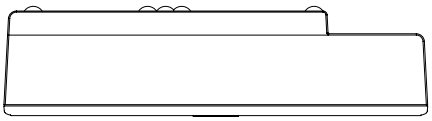
（VESAが定めた、液晶ディスプレイなどをアームやスタンドに取り付けるための物理的標準仕様）

1 外観図と各部寸法

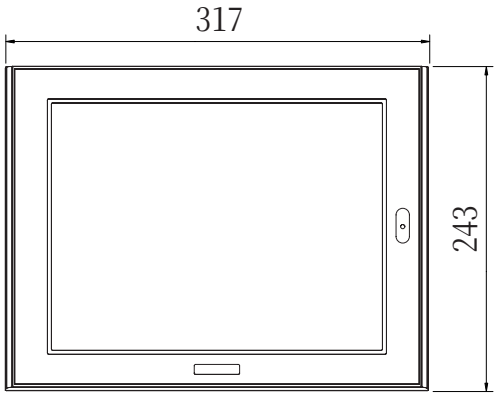
■リアカバー

本体にリアカバーを取り付けた場合の外形寸法図を示します。
リアカバーの外形寸法については「2. 一般仕様」を参照してください。

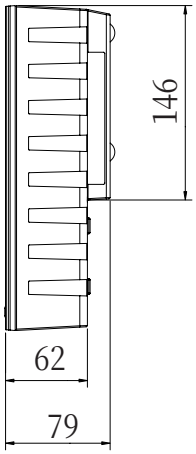
単位：mm



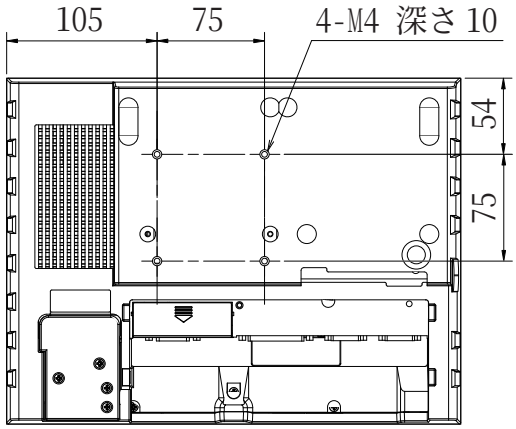
上面図



正面図



側面図



背面図

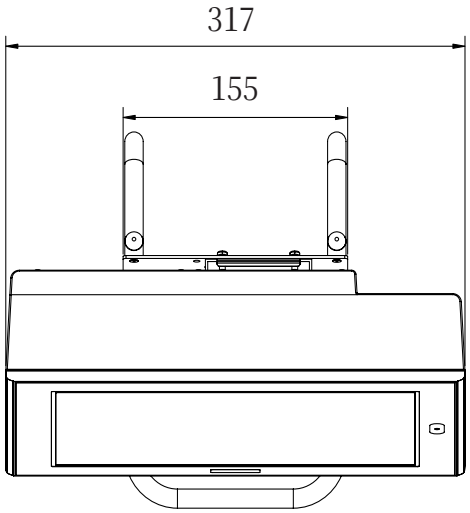
（突起部除く）

■デスクトップ型スタンド

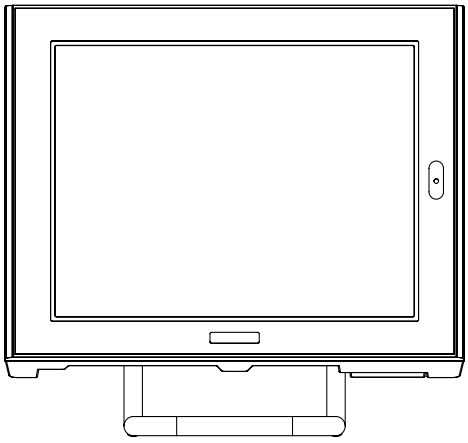
本体にリアカバーとデスクトップ型スタンドを取り付けた場合の外形寸法図を示します。

デスクトップ型スタンドの外形寸法については「2. 一般仕様」を参照してください。

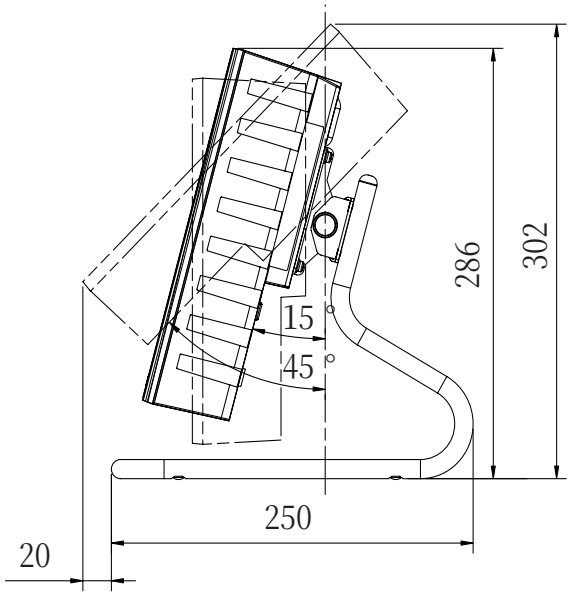
単位：mm



上面図



正面図



側面図

（突起部除く）

2 一般仕様

■環境仕様

項目	内容
使用周囲温度	0～40℃
保存周囲温度	-10～+60℃
周囲湿度	10～90%RH(結露しないこと)
じんあい	0.1mg/m^3 以下
腐食性ガス	腐食性ガスのないこと
耐振動性	JIS B 3501, IEC61131-2に準拠 断続的な振動がある場合 10～57Hz 0.075mm 57～150Hz 9.8m/s^2 連続的な振動がある場合 10～57Hz 0.035mm 57～150Hz 4.9m/s^2 X,Y,Z各方面10回（80分間）

重要

- リアカバーの使用温度範囲は本体に取り付けた状態で0℃～40℃です。本体のみの場合と比べて使用温度条件が狭くなります。
- 本体にリアカバーを付けた場合は、保護構造IP65fに対応できませんのでご注意ください。
- 耐振動性についての注意

  本製品を用いて本体の取り付けを行うと、他の壁掛け型あるいはチルトスタンド付き製品と同様に、周囲の振動や設置条件によっては、共振現象で本体が大きく振動する可能性があります。

  この場合、表示内容の視認やタッチパネルの操作に支障をきたすおそれがありますので、振動源から離れたところに設置するか、振動を抑制する対策などを行ってください。

■外観仕様

項目	内容
外形寸法	リアカバー ：W317×H243×D71mm デスクトップ型スタンド ：W155×H221×D250mm （本体のみ、突起部とコネクタ含まず）
質量	リアカバー ：約0.6kg デスクトップ型スタンド：約0.8kg

3 取り付け

リアカバーはデスクトップ型スタンドや市販アーム、壁掛け用アダプタと組み合わせて使用します。取り付け手順は次のようになります。

・スタンドへの取り付け

リアカバーを取り付けた後でデスクトップ型スタンドを取り付けます。

・アームへの取り付け

リアカバーを取り付けた後で市販のアームに取り付けます。

MEMO 壁掛け用アダプタの取り付け方法については「壁掛け用アダプタ取扱説明書」（壁掛け用アダプタに付属）を参照してください。

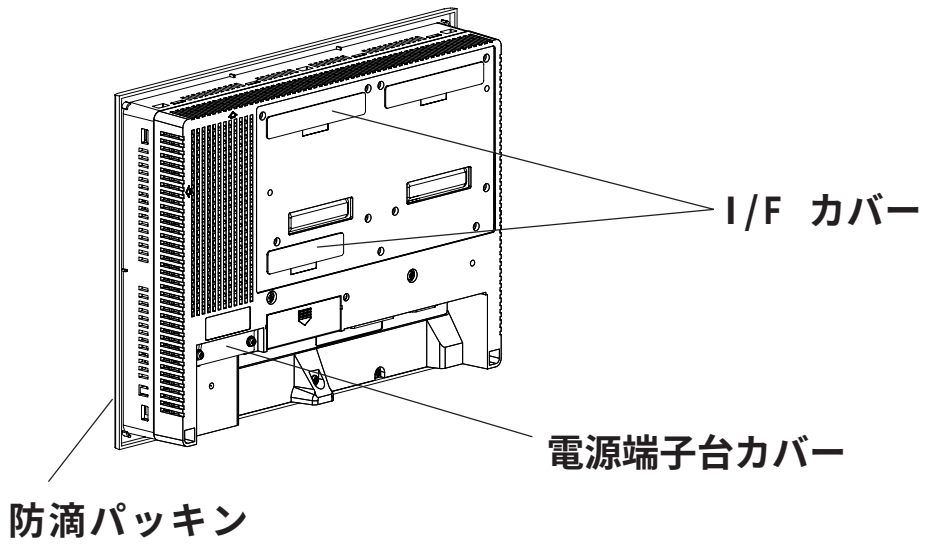
それぞれの取り付け手順は以下の通りです。

⚠ 警告

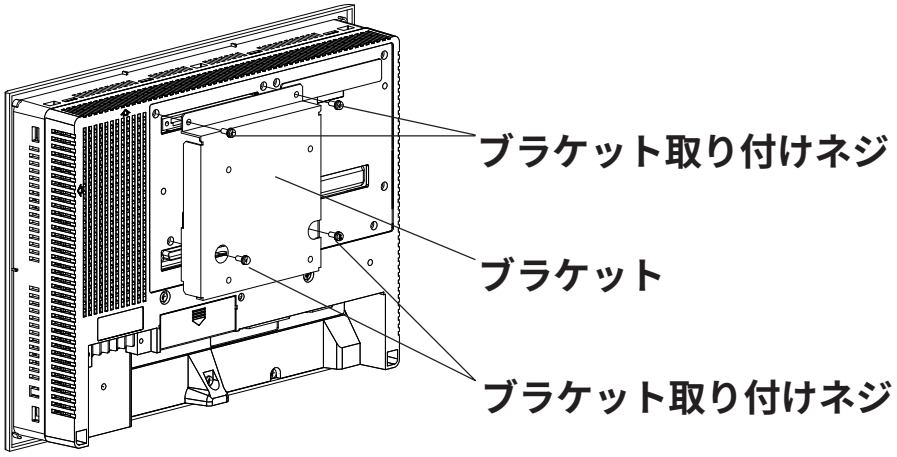
・リアカバーの取り付けは、感電の恐れがありますので電源が供給されていないことを必ず確認して作業を行ってください。
・必ず手袋をして作業してください。

■リアカバーの取り付け

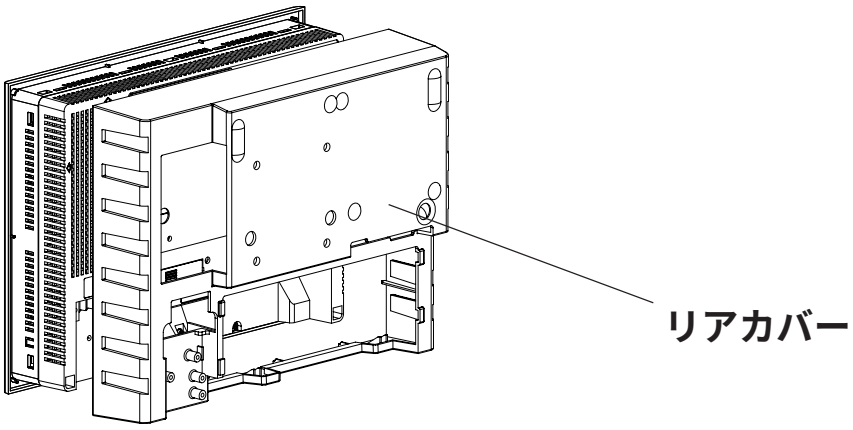
① 本体から電源端子台カバー、下図に示す位置のＩ/Ｆカバー、および防滴パッキンを取り外します。
本体機種により各カバーの有無や種類は異なります。



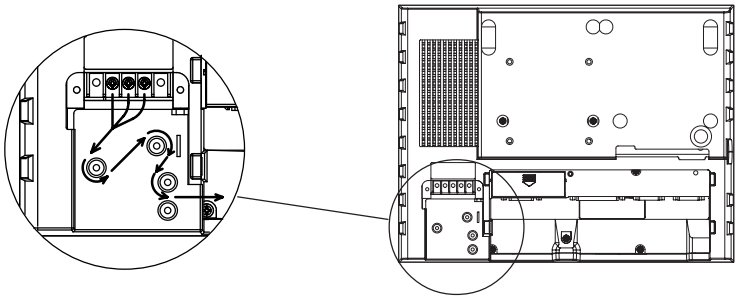
② 図のようにブラケットをネジ止めします。適正しめつけトルクは0.6～0.8N・mです。
EXT1に拡張ユニットを取り付ける場合、ブラケットは不要です。



③ リアカバーを本体背部にかぶせ、ゆっくり押しつけてツメを引っかけます。

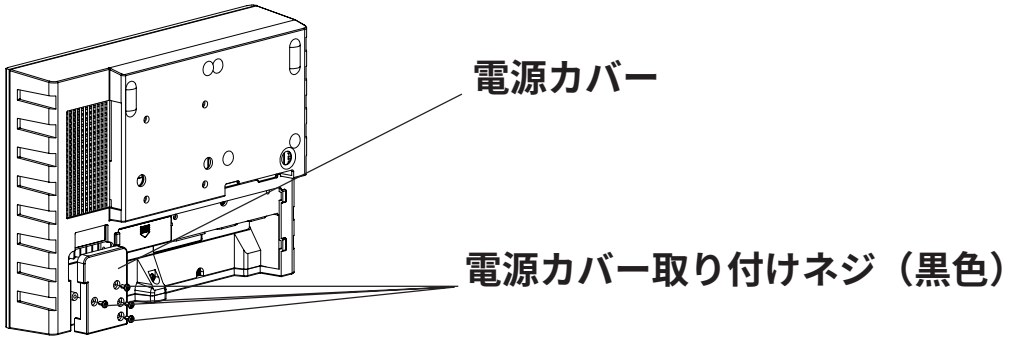


④ 電源端子台に電源ケーブルを取り付けます。取り付けた電源ケーブルは図の矢印に従って取り回します。



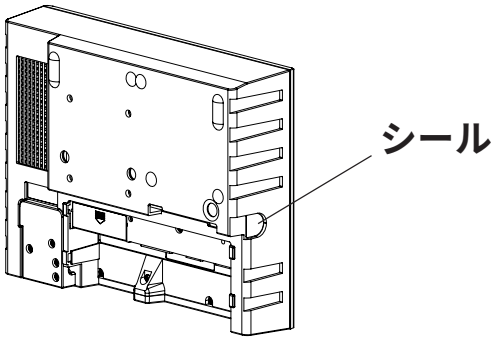
⑤ 電源端子台に電源カバーをかぶせ、電源カバー取り付けネジで取り付けます。適正しめつけトルクは0.5～0.6N・mです。

重要 **電源カバー取り付け時には電源ケーブルを挟まないよう注意してください。**



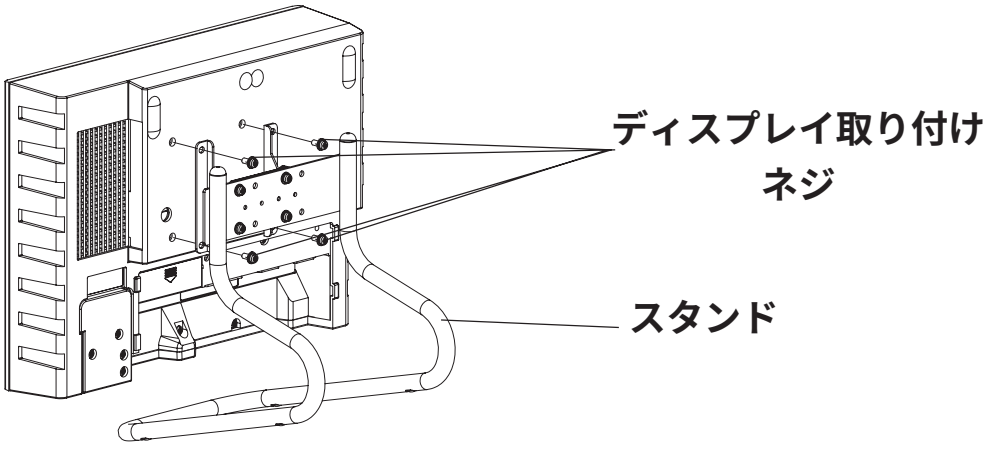
⑥ 本体の仕様に従ってすべてのケーブルを取り付けます。

MEMO PS-600Gにキーボードなどを取り付ける際はリアカバー側面のシールをはがしてください。

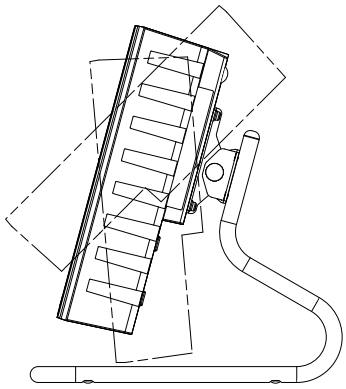


■デスクトップ型スタンドの取り付け

① リアカバーを取り付けた本体に図のようにデスクトップ型スタンドをディスプレイ取り付けネジで取り付けます。適正しめつけトルクは0.6～0.8N・mです。



② 画面の角度を調整します。



■アームなどへの取り付け

リアカバーを取り付けた本体にはVESA規格準拠の市販アームなどを取り付けることができます。

ネジ止めしてご使用ください。

重要 **使用できるネジの長さに制限があります。**
リアカバーはネジ深さ制限10㎜以下です。

4 取り外し

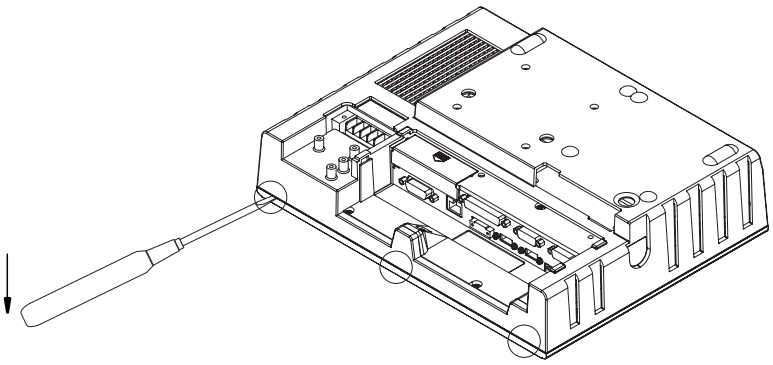
リアカバーの取り外しは次の手順で行います。

① 電源カバーとすべてのケーブルをはずします。

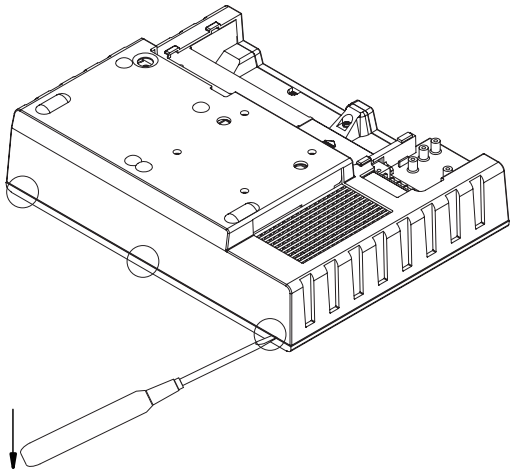
② 本体下部の3カ所のツメをマイナスドライバではずします。

図の位置にマイナスドライバを差し込み、カバーを持ち上げるようにして、順にツメをはずしていきます。

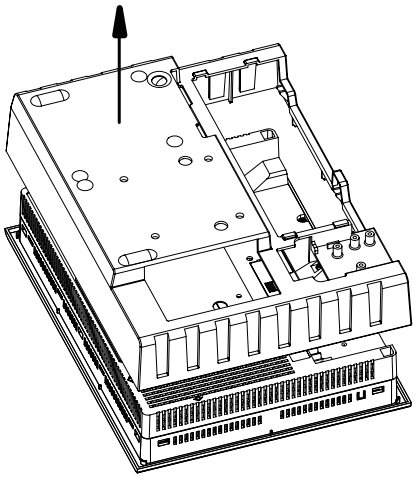
MEMO 製品を傷めないためにマイナスドライバの先端に布などを巻いてください。



③ 同様に本体上部の 3 カ所のツメをはずします。



④ リアカバーをゆっくり引き上げてはずします。



お断り

本製品を使用したことによるお客様の損害および免失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

株式会社 デジタル

〒 559-0031

大阪市住之江区南港東 8-2-52

TEL： （06）6613-1101（代）

FAX： （06）6613-5888

URL： http://www.proface.co.jp/

© Copyright 2002 Digital Electronics Corporation. All rights reserved.

PFX102993B .CA1-RCVLRG-MT01J 2008.4. JM/A